

3 指導案「のこぎりびきの練習をしよう」(本時7 / 25時)

(1) 目標

- ・のこぎりびきの技術向上を目指し、練習に取り組むことができる。【関心・意欲・態度】
- ・のこぎりの正しい使い方を理解し、けがき線に沿って切断することができる。【技能】

(2) 準備

2 × 4 材 (60cm × 20本), さしがね (20本), 両刃のこぎり (20本)
 デジタルカメラ (9台), 予備電池 (12本), パソコン (1台), プロジェクター (1台)
 移動用スクリーン (1台), 教材提示装置 (1台)

(3) 展開

	学習活動	・予想される生徒の反応	教師の支援	指導上の留意点
0	本時の目標の確認「班で協力してのこぎりの技を磨こう」 のこぎりびきのポイントを確認する(目線, 切り始め, 途中, 切り終わり)			
3	前時の確認	(前時撮影した)ビデオを見てアドバイスし合おう		
13	特に頭の位置と腕の動きに着目させる。 ・材をしっかりと固定できていない。 ・腕がまっすぐに引けていない。 ・頭の位置が曲がっている。 ・体が曲がっている。			
17	教師による示範	生徒が意識できていない点について指導をする。 切り始め, 切り終わりの処理の仕方 切り口の観察の仕方についても指導する。 さしがねをあてて, 切断面の曲がりのチェックの仕方を確認する。		
	のこぎりびきの練習	正しい切り方を練習で身に付けよう		
	移動時の接触に注意させる。 材料の配付 道具の配付(のこぎり, さしがね)			
	の こ ぎ り び き 作 業	・目線 ・切り始め ・切断中 ・切り終わり ・固定の仕方 ・腕の引き方	デジタルカメラの動画による チェック	切り 口 の 観 察
		ペアによる相互評価		さしがねをあてて, 曲がりをチェックさ せる。 切断面の乱れは, 引 き方と姿勢に問題が あることを示唆す る。
		評価カードによるチェック フィードバックして何度も練習		
43	作業終了2分前			
45	作業の区切りを明らかにし, 作業の交錯を避ける。 本時のまとめ 評価カードへの記入 上達したこととこれからの課題を確認し合う。 最初にビデオで示した生徒の様子を提示する。			